KENYA STUDENTS' EDUCATIONAL SCHOLARSHIP
run by Japan Overseas Cooperation

はらんべえれお

第34号
2022年2月

発行・編集：KESTESケニア
宇佐美　恵

奨学生なう！
（写真：左　ジョイスさん
右　奨学生担当
竹崎隊員）

Darline Joice Ooko(ジョイスさん)

ジョイスさんからのメッセージ

(2020年から支援中、Nyamira Girls Secondary School ３年生)

前回の成績：前回C　今回C+

KESTESの皆さん、こんにちは。皆さんからのサポートを感謝しています。精一杯、勉強に取り組んでいますが、今回の長期休暇後の（コロナ後の）試験では、上手くいきませんでした。将来の夢を達成するために、予習復習をしっかりし、先生や学習グループの友人と一緒に頑張っていきたいと思います。

マイケル君

Otieno Michael Oloo（マイケル君）

成績：前回B－　今回B+

目標の成績に達成するために、勉強時間を延ばし、復習をしっかりし、分からないところについては先生に聞きました。言語が弱点になっているため、特にその教科については集中して勉強していきたいと思います。KESTESの皆さんには、学費の支援をしていただき、とても感謝しています。2022年も良い一年になりますように。

奨学生なう！！

ケネディ君

Kosgei Kennedy kipkemoi (ケネディ君)

成績：前回C　今回C+

最終学年になるので、睡眠時間を減らし、勉強時間を確保しています。また目標の成績を取るために、日々勉強しています。将来の夢である医師になるために、特に苦手科目に対して時間をかけていきたいと思います。履修している教科では、多くの量を効率的に読むことが求められています。今のところ、整った学習環境で勉強ができています。家族も友人も元気に過ごしています。前学期、望ましい成績ではありませんでしたが、今学期は一番学力が伸びたのではないかと思っています。KESTESの皆さんにはいつもサポートして下さり、大変感謝しております。

ケジアさん

Keziah Muthoni Rugu（ケジアさん）

成績：前回C+　今回C

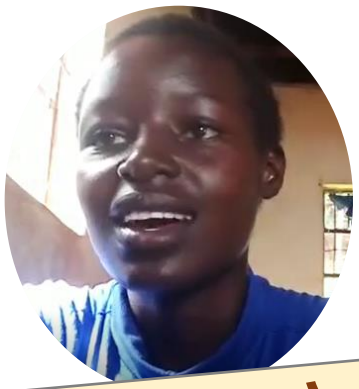
こんにちは。目標の成績に到達するために、授業中、授業についていけるようにしています。授業後は、ノートや教科書で復習をしています。また分からないところについては先生に聞きに行っています。コロナの影響により、学校のスケジュールが大幅に変更し、先生がシラバスの内容を教えることで精一杯になってしまい、質問に対応してくれる時間が無くなってしまいました。コロナによって両親を亡くしてしまった友人もいます。いつもご支援ありがとうございます。

ジョシュア君

Joshua Ouma Okoth (ジョシュア君)

成績：前回B－　今回B－

目標の成績を前学期と同様に維持することができました。自分を信じて、励ますことで達成できたのではないかと思います。そして将来、外科医として活躍できるようにもっと努力して勉強していきたいと思います。皆さまには支援をしていただき、大変感謝しています。



エスターさん

Esther Nyabwari Okemwa(エスターさん)

成績：前回　今回C

先生にはより難しい問題について教えてもらい、時間を有効活用し、学業に専念しています。また勉強時間を確保するために、夜は１０時半に寝て、朝は３時に起きています。特に数学と化学を勉強することが好きで、練習問題をやっています。時間に限りがあることが問題ではありますが、上手く時間を活用しています。この機会にKESTESの皆さまに対して心から感謝申し上げたいと思います。友人も家族もみんな元気に過ごしています。皆さまにもよろしくお伝えください。

奨学生なう！！

アンさん

Ann Njeri Wambui (アンさん)
成績：前回C-　今回C

目標の成績を達成するために、宿題に取り組み、精一杯勉強し、先生の話を真剣に聴き、復習もしっかりしました。時間を有効的に活用できるよう努め、理解できないところは先生に相談しに行きました。また、苦手科目についてはより多くの時間を費やし勉強しました。最近嬉しかったことは、家族に会えることができ、多くのことを共有できたことです。そして互いを信頼でき、助けてくれる友人もいます。協力的な彼らに対して、とても感謝しています。

現協力隊員からの質問コーナー

Hamjambo!こんにちは！

2021年度１次隊青少年活動隊員としてニエリに派遣予定の荒川未央と申します。

コロナの影響で延期になっていた派遣がついに実現し、2021年10月末から２年間リマンドホームで子どもたちと一緒に活動させていただくことになりました。

今回はKESTESの活動についてまだまだ知らないことがたくさんある私の立場から、素朴な質問をKESTESメンバーの皆さんに投げかけさせて頂き、皆さんと一緒にKESTESのことをもっと知っていけたらと思います♪

Q. 奨学生との直接のやりとりができなくなってから、奨学生とはどのようにコミュニケーションを取り、どのように学習の進捗や家庭の状況などを把握しているのでしょうか？

A. SNS（WhatsApp）を利用して、奨学生または奨学生の保護者とやり取りをしながら、学習の進歩や家庭の状況を把握しています。

Q. 奨学金を必要とする学生が多くいる中でKESTESはどのような基準で奨学生を選定していますか？

A. 新規奨学生を募集するときは選考に必要な書類を提出してもらった上で、KESTESの基準をもとに奨学生の選定を行っています。

Q. KESTESの奨学金は返済が必要ですか？卒業した学生たちは返済ができるのでしょうか？

A. KESTESの奨学金は給付型の奨学金のため、返済は必要ありません。

Q. 奨学生が学業を続けていくために、「金銭面での援助のほかにもこんなサポートが必要！」と感じることはありますか？

A. 精神面のサポートが特に必要だと、このコロナ禍を通して感じました。協力隊員が直接、奨学生に会いに行くことで、支えられていた奨学生が多くいたのではないかと感じます。

Q. 今後KESTESの活動が継続・進化していくための目標があったら教えてください！

A. 広報活動を行い、より多くの方々にKESTESを知っていただくことが大切だと感じています。

ムパタサファリクラブ様 事務所訪問

2021年11月、ムパタサファリクラブナイロビ事務所を約２年ぶりに訪問し佐藤様らへKESTES の近況報告等を行いました。マサイマラのロッジにて営業可能な期間中にも継続して KESTESグッズの販売にご協力頂いておりました。ケニア国内でもコロナの影響が多方面に及ぶ中、これまで同様、ご協力頂きましたことに改めて厚く御礼申し上げます。

※写真はナイロビ事務所で訪問時に撮影 窓からは急速に進む高速道路建設の様子が遠くまで確認でき、さらに都市化していくケニアの様 子が見て取れました。

隊員間での T シャツ販売 ぽれぽれ再開

新隊員の皆さんがナイロビ滞在中、ご自身たちのネットワークの中で情報共有し調整しながらKESTES Tシャツ購入をしてくださいました。現在ケニアで活動する隊員の数は25名(2022年1月時点)。隊員ドミトリーは廃止され、隊員達が集まって交流することが難しい状況の中、2021年度１次隊の皆さまを中心に複数の隊員の方々がTシャツを購入してくださり11200kshの寄付が集まりました。
※写真は 2021年度1次隊の方々